

熊本県内医療機関被災状況と 医療対応

災害医療国際協力学分野
佐々木宏之

熊本県 災害拠点病院 (18)

基幹：熊本赤十字病院（熊本市東区）→参集拠点

（青字：支援不要、赤字：要支援）

地域：

2次医療圏

熊本 済生会熊本病院（南区）→県央南活動拠点本部、国立病院機構熊本医療センター、熊本大学病院、熊本市市民病院、矢部広域病院、熊本中央病院

宇城 宇城総合病院（断水、停電）→救急外来停止

有明 くまもと県北病院、有明医療センター

鹿本 山鹿市民医療センター

菊池 熊本セントラル病院

阿蘇 阿蘇医療センター

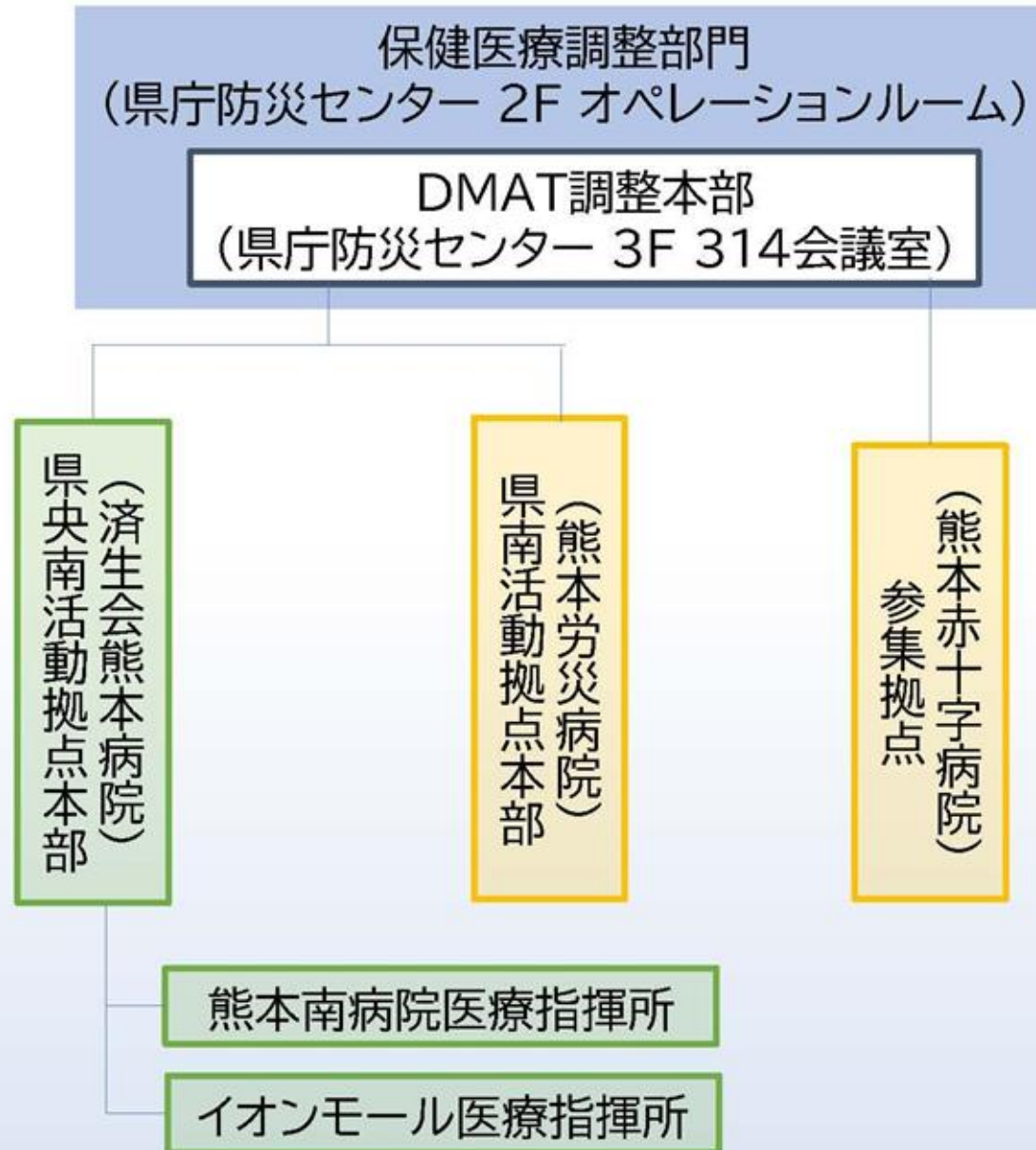
八代 熊本労災病院（入院病棟浸水、断水）→県南活動拠点本部

水俣・芦北 国保水俣市立総合医療センター

人吉・球磨 地域医療機能推進機構人吉医療センター

天草 上天草市立上天草総合病院、地域医療機能推進機構天草中央総合病院

熊本県体制図(7/29 04:55)



被災医療機関（要支援）と体制 7/29 0:00-7:30

熊本赤十字病院（東区）
参集拠点
基幹災害拠点

済生会熊本病院（南区）
県央南活動拠点本部
災害拠点

イオンモール熊本（嘉島）
医療指揮所

熊本労災病院（八代）410床
県南活動拠点本部（宮崎、鹿児島隊）
災害拠点 浸水、断水

八代更生病院（八代）249床
病院避難（必要患者搬送済）
建物倒壊・倒壊恐れ、浸水、停電、断水、
医療ガス不足、医薬品等不足

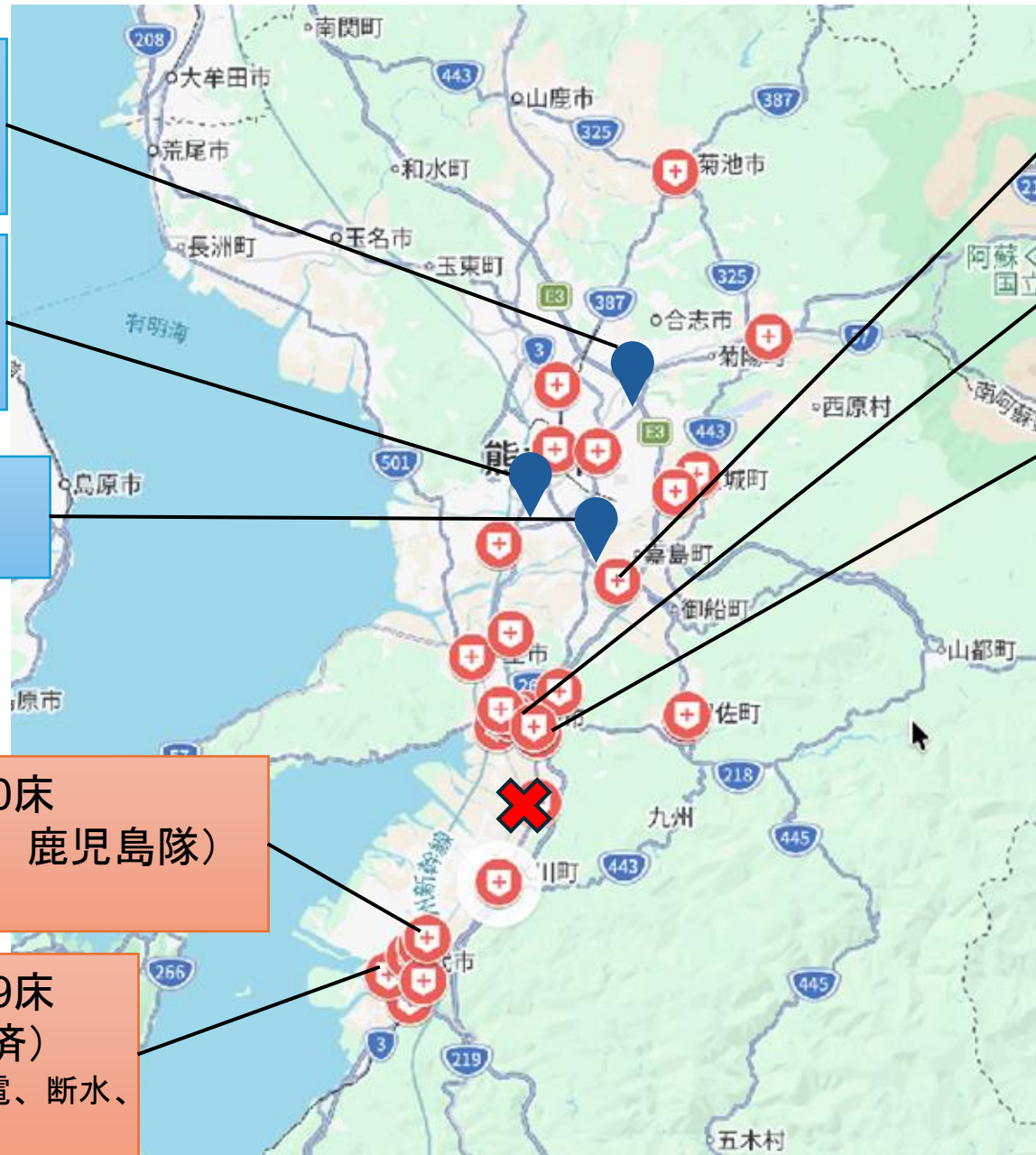
希望ヶ丘病院（御船）162床
病院避難(必要患者搬送済)
浸水、停電、断水、医ガス不足

宇城総合病院（宇城）204床
災害拠点 救急外来停止

熊本南病院（宇城）156床
病院避難（→搬送済）
建物倒壊、停電

 要支援病院（29, 7/29 0:00）

 震源（M 7.1）



DMATの動き(1)

7/28 16:27 (発災)	震度7 。DMAT自動待機基準：③ 震度7の地震が発生した場合→ 全国のDMAT指定医療機関 。DMAT派遣要請基準：③ 震度7の地震→ 管内（熊本）のDMAT指定医療機関 並びに被災都道府県（熊本）に隣接する都道府県、被災都道府県が属する地方ブロック（九州）に属する都道府県及び被災都道府県が属する地方ブロックに隣接する地方ブロックに属する都道府県に対してDMATの派遣を要請
20:30	厚生労働省DMAT事務局発。 熊本県からDMAT派遣要請。 1. 派遣要請都道府県： 沖縄県を除く九州・沖縄ブロックの各県。沖縄県を含む九州・沖縄ブロックの各県にDMATコーディネーションチームの派遣を要請。 沖縄県DMATについては、待機の継続を依頼。 2. DMATの概ねの要請チーム数及び参集拠点について： ・福岡県20隊、佐賀県5隊、長崎県8隊、大分県13隊については、熊本赤十字病院に参集。 ・宮崎県7隊、鹿児島県11隊については、参集拠点調整中。（→21:50 熊本労災病院決定） ・DMATコーディネーションチームについて人数の制限はしない。参集場所は別途指示。
21:05	厚生労働省DMAT事務局発。 九州・沖縄ブロックを除く各地方ブロックについては、本日夜間のDMAT派遣要請の可能性はありません。
7/29 9:55	厚生労働省DMAT事務局発。 熊本県からDMATコーディネーションチーム派遣要請。 1. 派遣要請都道府県：近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック各府県。なお、 <u>一般のDMAT</u> の派遣の要請は現時点ではありません。

DMATの動き(2)

7/29 16:00	厚生労働省DMAT事務局発。 DMAT2次隊派遣要請(100隊)。 - 派遣要請都道府県：中国、四国、九州・沖縄ブロックの各県 - 各県へのDMAT派遣要請チーム数（目安）及び参集拠点について ・徳島県8隊、香川県5隊、愛媛県6隊、高知県10隊、鳥取県2隊、島根県6隊、岡山県6隊、広島県10隊、以上：参集場所：熊本県央南活動拠点本部(済生会熊本病院内) ・山口県9隊、福岡県8隊、佐賀県3隊、長崎県4隊、大分県6隊、宮崎県4隊、鹿児島県5隊、沖縄県8隊、以上、参集場所：熊本県南活動拠点本部(熊本労災病院) - 参集拠点への到着時刻：7月30日（木）概ね16時～17時ごろ
7/30 14:30	厚生労働省DMAT事務局発。 熊本県からDMATコーディネーションチームの派遣要請（追加） - 派遣要請都道府県：関東、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄ブロック内の各都府県。なお、一般のDMATの派遣要請ではありません。 - 活動期間：8月1日（土）頃～8月10日（月）頃までの期間において、熊本県内で5日程度活動できること ・参集場所：熊本県保健医療福祉調整本部（熊本県庁）（活動場所は同本部が指示） ・活動内容：指示された本部での本部活動

他の緊急派遣チーム(7/31 9:30時点、熊本県災害対策本部会議資料)

【DHEAT派遣について】

- 県外DHEAT：宮崎県・長崎県より先遣隊各1チームが本庁・八代保健所へ、福岡市より1チームが宇城保健所へ、○県版DHEAT：阿蘇保健所・山鹿保健所より初動班各1チームが宇城保健所・八代保健所へ

【日赤救護班等の支援について】

- 救護班が八代、宇城で各2チーム（計4チーム）活動中。日赤災害医療コーディネートチームが県庁2チーム、八代、宇城で各1チーム（計4チーム）活動中。

【DPAT派遣について】

- DPAT調整本部で5チーム、DPAT活動拠点本部（熊本労災病院）で5チームが活動中。

○専門職派遣

- **災害支援ナース**：8月3日から氷川町避難所、4日から宇城市避難所に派遣。県外の災害支援ナースに支援要請中。
- **県保健師**対向支援4名を宇城保健所及び八代保健所へ派遣。県外保健師等チーム（※管理栄養士含む7チーム）が当該保健所管内の5市町へ派遣。
- 日本栄養士災害支援チーム（**JDA-DAT**）について、宇城・八代保健所派遣開始（7月30日(木)～）
- 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（**JRAT**）による各避難所支援等について調整中
- 災害派遣福祉チーム（**DWAT、DCAT**）が6市町の避難所で活動開始。厚労省にDWATの全国派遣を要請。

他の緊急派遣チーム(7/31 9:30時点、熊本県災害対策本部会議資料)

- 歯科保健医療支援活動について **JDAT**（日本災害歯科支援チーム）先遣隊を宇城地域及び八代地域に派遣し、避難所等の歯科保健医療ニーズ等の把握を実施（7/31～）
- **モバイルファーマシー**（移動式薬局）について 県薬剤師会や九州各県と連携し要請があればいつでもモバイルファーマシーを出動できるよう準備するとともに、避難所等への適切な配備に向けてDMAT等と連携して検討中。
- **宿泊支援提供事業**について 市町村に事業の実施を通知済。県旅館ホテル生活衛生同業組合と連携して受入可能宿泊施設を確認中。（熊本市、菊池市、玉名市、天草市、上天草市、南小国町、南阿蘇村等所在のホテル・旅館を15施設確保済み）。市町村の積極的な利用を呼びかけ。
- **入浴支援事業**について 市町村に事業の実施を通知済。実施を希望する市町村において準備中。実施中：天草市（7/29～）

【医療機関や社会福祉施設等における水の確保】

○断水により、診療継続が困難となっている医療機関等からの支援要請が数多く寄せられている。

【支援機関の連携】

○「保健・医療・福祉支援連携会議」の立ち上げ 第1回：7/31（金）14:00～

高齢者福祉施設等の被害状況(7/31 7:30時点、熊本県災害対策本部会議資料)

- 高齢者施設 6 9 6 ↑ 施設（熊本市、八代市、宇城市ほか）
壁ひび割れ、ガス供給停止、断水等
- 児童福祉施設等 2 6 4 ↑ 施設（八代市、嘉島町、益城町ほか）
壁ひび割れ、停電・断水等
- 障がい者福祉施設 2 5 6 ↑ 施設（宇城市、八代市、宇土市）
建物被害、停電・断水等
- 救護施設 3 施設（八代市、芦北町、西原村）
壁ひび割れ等、断水等

課題、個人的見解

1. **長期的な断水、濁り水→医療機関・高齢者福祉施設機能回復遅れ**。透析中断。熱中症悪化。血栓症の要因。八代地域への送水管が大きな被害、の情報も。
2. 停電（→ほぼ通電もしくは代替電源）、**冷房が使えない→熱中症**対策。現在いる入院患者＋避難生活者＋高齢者福祉施設
3. 希望ヶ丘病院、熊本南病院など、病院避難が迅速に行われた
4. 令和6年能登半島地震と比べ、周囲に受け入れられる医療機関がある、経路が確保されている（空路、陸路）
5. 平成28年熊本地震と比べ、現地医療機関が対応に習熟してきている、事前対策が進められている、DMAT含む緊急チーム派遣体制が各分野で進んでいる。発災初期からの全国へのDMAT派遣要請には至らず。中長期的な支援へ移行中
6. ロジスティックに精通したDMATコーディネーションチームの活動は長期化する可能性がある
7. **高齢者福祉施設などの被害**がどの程度拡大していくか(単純に「避難すればよい」というわけではない、能登の教訓)